

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

生産では、機械道集材及び架線集材にも注力し森林保全に努め、生産した木材は製材品加工センターで利活用し、製品市場で販売を行う一連の体制を整え、持続可能な森林管理と木材の利活用促進に向けて尽力していく。また、森林整備では、適切な森林の管理を行い、皆伐後には植栽を行うことで森林の炭素吸収能力を高め、脱炭素社会実現へ向け貢献していく。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☑ 環境 □ 社会 □ 経済	皆伐後の植林による持続可能な木材資源の管理の実施	2023年植栽面積21ha 2026年植栽面積30ha
□ 環境 ☑ 社会 □ 経済	地域の林業イベントでの森林環境についての広報活動	2023年実施回数4回 2026年実施回数5回
□ 環境 □ 社会 ☑ 経済	間伐または皆伐による木材生産	2023年素材生産量 11500m ³ 2026年素材生産量 12500m ³

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、それを評価するための指標と、**現状の数値および更新時(3年後)の数値目標を記載してください。**(例:採用の人数:2023年○人→2026年○人)更新時には実績を報告する必要があります。

<パートナーシップ>

多良木町、久米財産区、森林整備センターと、SDGsに関する重点的な取組を行うにあたって情報を共有し連携を行う。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標に係るこれまでの進捗状況>

三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
☑ 環境 □ 社会 □ 経済	皆伐後の植林による持続可能な木材資源の管理の実施	2020年植栽面積24ha 2023年植栽面積30ha
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	皆伐後には必ず植林を行ったが、皆伐を実施する面積が少なかった為、目標未達成となった。	指標 植栽面積30ha 実績 植栽面積21ha
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
□ 環境 ☑ 社会 □ 経済	地域の林業イベントでの森林環境についての広報活動	2020年実施回数0回 2023年実施回数2回
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	林業に限らず地域の様々なイベントに参加し、森林環境についての広報活動を行った結果、目標を達成することができた。	指標 実施回数2回 実績 実施回数4回
三側面 (分野に☑)	前期のSDGsに関する重点的な取組み	前期の指標
□ 環境 □ 社会 ☑ 経済	間伐または皆伐による木材生産	2020年素材生産量 5600m ³ 2023年素材生産量 8000m ³
	取組みの進捗状況(実施状況や指標の達成状況など)	前期の指標に対する実績
	林産事業を毎年実施し、伐採面積を増加させたため生産量増加に繋がり目標を達成することができた。	指標 素材生産量 8000m ³ 目標 素材生産量 11500m ³

・「三側面」、「前期のSDGsに関する重点的な取組み」と「前期の指標」には、前回登録申請した際に記載した「三側面」、「SDGsに関する重点的な取組み」と「指標」をそのまま転記してください。

・「取組みの進捗状況」には、取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。

・「前期の指標に対する実績」には、「前期の指標(数値目標)」に対する実績を数値を用いて記載してください。